

コレがあればすぐ出来る！
しょうゆおこわ



味付けには、
つゆ源を
★

昔ながらの
コシの強さ

こがね餅

冬季限定
(3月初旬まで)



新町2-3-7
tel 0256(52)0779
営：9時～18時半
休：毎週日曜日



↑しとみ戸

上下に開放する
珍しい部(しとみ)
戸が今でも残され
ています。

もう一杯おかわりしたくなる！おいしいお米を食卓へ
金子米店
創業約七〇年、江戸時代から続く「金子米店」は、町屋づくりのお店からも、その歴史がうかがえます。
加茂七谷地区や旧栃尾地区といった里山のお米を中心に厳選したコシヒカリを精米し、パック詰めにしてお客様にお届けしています。加茂出身者の口コミで県外でもお得意さんが増えているとか。冬季限定、杵つき手延しの「黄金(こがね)餅」も絶品です！

我が社のモットー



楽しみは人の和に在り

すぐに
来てくれる
身近な
電気屋さん



新町2-3-8
tel 0256(52)1522
営：8時～17時半
休：第2土曜日、
日曜日、祝祭日



電気のことで困ったら…新町の頼れる電気屋さん
八千代電業(株)

昭和21年、当時、東北電力(株)加茂営業所の所長職をしていた初代社長が独立し商店街沿いに開業しました。「まちの電気屋さん」として家電量販店にはない細やかなサービスと対応が地域の方々には喜ばれています。高い位置の電球交換や、最新の家電製品の説明、取り付けの相談にも親身に対応。電気関係のお悩みは、お気軽にご連絡ください。

商店街探検隊

今回は…新町



「新町」(しんまち)とは、徳稻荷社(若宮神社)から下流に向かって、一番町、二番町とされた時代の三番町、四番町で、大正時代には上条本町(じょうじょうもとまち)と呼ばれたこともありましたが、その後、三番町と四番町を一緒にして「新町」と名付けられたといわれています。

谷通りとは、商店街の山側、青海神社付近から続く裏通りの愛称で、通りに沿って上江川が流れています。新町地区は土蔵や塀が並び、情緒あふれる一角が昔のままの姿で残されています。雪が降った後の景色も趣がありますよ。



上江川は江戸時代、生活用水として使われていました。

小京都の風情が漂う
谷通り



土蔵は盗難や災害に備えて四面を土や漆喰などで塗り固められた倉庫のことですが、新町には幾つかの土蔵が残されています。左の写真は、大正7年に建築された木造3階建ての珍しい土蔵で、県内にも数例しかありません。

全国でも珍しい
3階建ての
土蔵

「小京都を感じさせる小路や建物が残る 新町商店街」